

このアンケートは世田谷区が実施しています

あなたについて

世田谷区における多文化共生に関する アンケートへのご協力をお願い

日頃より、区政運営にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

現在、世田谷区には多くの在住外国人が生活しています。その割合は年々増加しており、今後もさらなる増加が予想されています。このような現状を踏まえ、区では、「世田谷区第二次多文化共生プラン」を策定し、日本人住民と外国人住民がともに安心して暮らせるまちの実現に向け、多文化共生を推進しています。

このアンケートは、区民の皆様の声をお聴きし、世田谷区における今後の多文化共生施策の参考とするために実施するものです。なお、本アンケートの送付は、令和8年4月1日時点の住民記録の情報に基づき、15歳以上の方へ無作為に行っております。変更や行き違い等がございましたらご容赦ください。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理しますので、個人の特定やプライバシーに関わる内容の公表をすることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年6月 世田谷区

ご回答にあたってのお願い

- 宛名に記載のご本人がご回答ください。
- ご回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。「1つに○」「あてはまるもの全てに○」など、質問によって○をつける数が違いますのでご確認ください。
- ご回答方法は2通りございます。(いずれかの方法でご回答ください)
 - ①本アンケート票…回答をご記入のうえ、同封の返信用封筒でご返送ください。(切手は不要です)
 - ②WEBページ…下記 URL または二次元コードより、回答ページへアクセスしてご回答ください。

「世田谷区における多文化共生に関するアンケート 回答ページ」
<https://logoform.jp/form/JqMJ/1553040>



- ご回答は、**令和8年7月13日（月）** までにお願ひします。

【お問い合わせ】

世田谷区 生活文化政策部 文化・国際課 国際・多文化共生担当 電話：03-6304-3439
FAX：03-6304-3710

F 1. あなたの性別（性自認）は次のどれですか（1つに○）。

1. 男性 2. 女性 3. その他

F 2. あなたの年齢は次のどれですか（1つに○）。

1. 15～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

F 3. あなたがお住まいの地域はどれですか。1つに○をつけてください。なお、（ ）内には、その地域に属する地区名を記載していますので、参考にしてください。

- 世田谷地域
(池尻1～3丁目・4丁目1～32番、下馬、三宿、太子堂、三軒茶屋、野沢、若林、上馬、駒沢1～2丁目、世田谷、弦巻、宮坂、桜、経堂、桜丘)
- 北沢地域
(池尻4丁目33～39番、北沢、代沢、大原、羽根木、代田、松原、梅丘、豪徳寺、赤堤、桜上水)
- 玉川地域
(駒沢公園、駒沢3～5丁目、新町、深沢、桜新町、用賀、上用賀、玉川台、奥沢、東玉川、玉川田園調布、等々力、尾山台、玉堤、中町、野毛、瀬田、上野毛、玉川)
- 砧地域
(船橋、千歳台、祖師谷、砧、成城、大蔵、砧公園、岡本、鎌田、喜多見、宇奈根)
- 烏山地域
(八幡山、南烏山、粕谷、北烏山、給田、上祖師谷、上北沢)

F 4. あなたは世田谷区に住んで何年になりますか（1つに○）。

1. 1年未満 2. 1年以上～3年未満 3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上～10年未満 5. 10年以上～20年未満 6. 20年以上～50年未満
7. 50年以上

F 5. あなたの家族や親戚に、外国籍の方や外国にルーツを持つ方はいますか（1つに○）。

1. いる（関係： ） 2. いない

多文化共生のまちづくり

Q 1. あなたは、世田谷区内において「多文化共生」が進んでいると思いますか（1つに○）。

※「多文化共生」とは、全ての人が、国籍、民族等の異なる人々の互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことを言います。（「世田谷区第二次多文化共生プラン」より引用）

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない 5. わからない

（A）なぜそう思うか、理由を教えてください。

Q 2. 区では、外国人等が地域住民の一人として地域社会に参加・活躍できるように、地域のおまつりや防災訓練、ボランティア活動などへの参加を促進しています。あなたは、外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか（1つに○）。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない 5. わからない

（A）なぜそう思うか、理由を教えてください。

Q 3. 区では、多様な文化を理解し合える交流イベントなどを開催し、区民一人ひとりが互いの文化について理解を深め、偏見や差別を解消することで、多文化共生社会の実現を目指しています。あなたは、区内において外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか（1つに○）。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない 5. わからない

（A）なぜそう思うか、理由を教えてください。

Q４．これまでに、外国人住民とのあいだで困った経験や戸惑ったことがあった場合、その内容としてあてはまるものを選んでください（あてはまるもの全てに○）。		
１．ごみの分別や出し方など、生活ルールの理解に差を感じたことがあった ２．生活音（話し声、音楽、足音、その他騒音など）について気になることがあった ３．住居や近隣の共用部分の使い方について気になることがあった ４．自転車やバイクの運転で、駐輪や走り方などのルールが守られていなかった ５．日常の会話でことばの行き違いや誤解があった ６．文化や慣習の違いから、受け取り方に行き違いや誤解があった ７．あいさつをしても返事がなかったなど、日常的な地域での関わりに戸惑いを感じた ８．子ども同士の関わりや、保護者同士のやり取りで対応に困った ９．行政情報や地域の案内が十分に伝わっていないと感じた １０．地域での活動を案内したいが、どう声をかけたらよいかわからず、困った １１．その他（ １２．特になし		
Q５．あなたは、今後ボランティアとして、外国にルーツを持つ方への支援をしたいと思いますか(１つに○)。		
１．積極的にしたい ２．機会があればしたい ３．どちらでもない ４．あまりしたくない ５．絶対したくない		
(A) Q５で「１．積極的にしたい」「２．機会があればしたい」を選択された方にお聞きします。 どのような支援活動をしたいですか（あてはまるもの全てに○）。		
１．イベントでの通訳 ２．専門家相談（弁護士・行政書士等）での通訳 ３．日本語を教える活動 ４．学校からの配布物やその他郵便物等の簡単な翻訳・通訳及び日常生活の相談 ５．災害時の外国人支援 ６．地域住民と外国人住民との交流支援 ７．その他（		

その他

Q6.「多文化共生」について、ご意見等がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。